埼玉県産業振興懇談会

埼玉県幹部を

出席者

【民間企業】
日本メタルガスケット社長　植田　耕司氏
関口工業社長　関口　拓造氏
モチダ製作所社長　持田　明雄氏

【埼玉県】
産業労働部長　山中　融　氏
産業労働政策課長　板東　博之氏
商業・サービス産業支援課長　新里　英男氏
産業支援課長　正能　修一氏
先端産業幹　村瀬　泰彦氏
企業立地課長　前沢　幸男氏
就業支援課長　堀口　幸生氏
ウーマノミクス課長　野尻　一敏氏
産業人材育成課長　仲村　直基氏
埼玉県産業技術総合センター長　牟田口　照恭氏
埼玉県産業振興公社理事長　秋山　秀次郎氏

外形標準課税の導入は

モチダ製作所社長
持田　明雄氏

モチダ製作所は埼玉県小川町にある工業部品の塗装メーカーです。創業は1965年、来年で50周年になります。創業当時はカメラ部品の塗装を主にやっていましたが、現在は建築金物部品、オートバイの部品、医療機器部品などの塗装をしています。主に外観に使用される部品塗装です。金属ダイカスト製品の外観塗装に強みを持っています。

ダイカスト製品は多くの産業分野で使われていますが、製品の美観を要求される外観品の場合はけっこう難儀でして、ダイカスト製品をそのまま塗装するだけだと素材表面の粗さが目立ち、顧客の要求に応えられないものです。そのような品質要求に応えるため、塗装メーカーでありながら素材表面を修整する工程を社内で行い、塗装外観をトータル管理できるのが強みです。

法人税関係で質問します。現在、安倍政権の経済成長戦略の一つとして法人税の税率を下げることを掲げています。ですが、法人税を下げる一方で、法人税減税に見合う規模の財源確保という観点から、外形標準課税を中小企業にも適用すべきという方向で検討がされています。近い将来、中小企業へも外形標準課税導入に踏み切りたいのが政府・与党の考えではないかと思います。県の行政の方はどう考えているのか、ご意見を聞きたいと思います。

慎重な検討を提言

板東博之産業労働政策課長　税制の関係はいろいろな部分のバランスを考えなければいけないので、お答えするのが非常に難しいところがあります。

埼玉県の考え方ですが、税理論としては外形標準課税が法人が事業活動を行ううえでさまざまな行政サービスを受けていることから、その対価として負担を求めることがその公益性の原則からも、必要な部分はあります。それと同時に、地方の税制が法人税に、前ほどは依存はしていませんが、やはり大きな部分を占めています。景気によって税収が大きく増減すると安定的な行政サービスを提供できないこともあり、税の安定的な確保という観点からも必要性はあると思います。

ただ中小企業の外形標準課税の拡大については、今回の法人税改革が法人の国際競争力を高めるということで議論されているという観点から、中小法人の経営に対する配慮から現行の法人税率が低く設定されていることなども踏まえまして、慎重に検討する必要があるというように全国知事会でも国に提言しています。

具体的にはまず、外形標準課税が導入されている資本金1億円超の法人に対して比重を高めるのを優先すべきではないかということを埼玉県は主張しています。

板東氏

自然災害の際の県の対応

タナカ技研社長　田中　俊次氏

―タナカ技研（埼玉県小鹿野町）の田中俊次社長から質問をお預かりしています。「自然災害の際の県としての対応について」です。

2014年2月8、14日と立て続けに記録的な大雪に見舞われ、大きな被害に直面しました。想定外の積雪のため、交通網がマヒし、工場自体3日間動かない緊急事態となりました。昨今、想定外の自然災害に直面する場面があり、BCP（事業継続計画）を更新しては、それらの災害時の対応について緊急対応に備えています。県として、これらの想定外レベルの自然災害における対応についてどのような備えをお考えでしょうか。

BCP策定を支援

板東課長　県には危機管理防災部という組織があり、そこを中心に災害等の関係をリードしていく形になっています。雪害の予防計画やライフラインなど関係機関の降雪対策については、県の地域防災計画に記載してあります。その内容は埼玉県の場合、台風等の風水害が最も想定され、その風水害に準じた対応ということになっていました。

しかし今回の大雪の被害は予想を超えるもので、従来の対応では不十分でした。現在、地域防災計画の改正を行っています。

また昨今、タイムラインが非常にクローズアップされています。時間の経過とともにそれぞれの機関、住民が何に備えてどのように行動するかという行動計画です。それも現在、作成中です。雪の場合は、孤立のおそれのある集落への避難指示、雪が積もる前の道路の通行止めをどうするか、除雪作業の準備、指示等の判断をルール化して防災関係機関が共有していくことが必要になります。また、さらにタイムラインをもっと有効に使うには、大雪で孤立するおそれがある集落、ひとり暮らしの高齢者、災害時に配慮が必要な方がどこにいるのかという情報をふだんから市町村が把握する必要があります。この辺を十分に関係機関と協議をしながら充実していきたいと思います。

秋山氏

正能氏

正能課長　現在どれぐらいの企業がBCPを策定しているかというと、日本政策金融公庫の2011年9月の調査では、大企業で27・6％、中小企業では10・6％です。中小企業のBCPはなかなか策定が進んでいないのが現状です。県としても埼玉県産業振興公社と連携しながら、BCPの普及セミナーやホームページ、チラシなどをつくって中小企業のBCP策定を応援しています。企業がBCPを策定する場合には専門家を派遣して支援する制度もあります。そういったPRも含めて中小企業のBCP策定率を高めたいと考えています。

秋山理事長　埼玉県産業振興公社では三つの取り組みをしています。普及・啓発のセミナー、BCP作成の講座、専門家派遣です。BCP策定については現在、年間で10回ほど専門家を派遣してBCP策定を支援しています。この5年間で13社ほどのBCPの策定を支援しています。BCPは策定すればよいというものではなく、実際に地震などが起きたらマニュアルを取りに行っている間はないので、いかに現場ですぐに活用できるかという視点が非常に大事です。今年度からは、実際に災害があったときに対応が取れるような訓練の要素を取り込んで、セミナーやBCP策定支援をしています。関心のある方は活用してもらいたいと思います。

成長産業への進出支援

―事務局から一つ質問させていただきます。MRJ（三菱リージョナルジェット）という国産のジェット機のお披露目が行われました。埼玉県の産業界でも航空分野などの先端産業、成長産業への進出を狙う企業がたくさんありますが、中小・零細企業の技術開発にはいろいろなハードルがあります。その支援についてお話をうかがいたいのですが。

牟田口氏

公的機関の活用を

牟田口照恭埼玉県産業技術総合センター長　まずMRJについては、本体そのものはつくらないとしても部品としての供給をお考えの企業は多いと思います。いろいろなキーワードがあろうかと思います。金属、軽量化の（ための）強化プラスチックなどについては、それぞれ試験、評価できる設備を用意しているところです。直近ではガスクロマトグラフィーを導入します。宇宙ですから（大きな）温度変化があろうかと思います。そこでどのような挙動変化があるのか、それを分析できる装置を年度内には導入し、いろいろな試作品をつくりたいという企業を支援したいと思っています。

私ども公的試験研究機関は近隣都府県と高度に連携をしています。ですから、ここではできないけれども東京都のどこどこではできます、または産総研の先生を紹介しますというような体制を取っています。

できることとできないことを切り分けながら、できることは当然ながらすぐにやる、できないことは他機関を紹介するようにと、常々職員に言っています。他機関を紹介できることは技術者にとって恥ではない、むしろ誇りだと。県の先端産業創造プロジェクトはいろいろと旗が立っています。要望がありましたら何なりと相談してもらえればと思います。

村瀬氏

村瀬先端産業幹　航空・宇宙産業については先端産業創造プロジェクトの中でも一つの重点分野として位置づけています。県が今年度から始めている航空機産業の支援では、中小企業の技術開発に対する資金面での補助に加えて、埼玉県産業振興公社で航空機産業の参入支援に向けた研究会を組織しました。また安全面については今年度からの補助事業として、国際的な安全性の認証に向けて補助金を出しまして、その取得に向けて支援をしていく取り組みもしています。

光通信機器の製造メーカー
七星科学開発センター
高速な電気信号を光信号に変換し光ファイバで伝送へ
NKKC
デジタル放送からイーサネットまで幅広くサポート
落雷被害の軽減が可能
詳しくはWeb上で http://www.nnbs-develop.com
ご注文・お問合わせは kaihat-c@nanabosi.co.jp
●問合わせ・注文先　七星科学 開発センター
〒350-1306 埼玉県狭山市富士見1-15-38 小沢ビル2F
TEL.04(2950)0123
FAX.04(2950)0122
株式会社七星科学研究所

そのお菓子づくりを、もっと美味しく、新しく。
MASDAC
高い生産能力。使いやすく、優れた安全性 システムデポリー エボリューションII
過熱蒸気で品質向上・生産性アップ・省エネ効果 サーマルメディアオーブン
セイロ蒸しの再現 ファインアップ スチーマー
選べる充実のラインナップ どら焼機
単体機でも使える
組み合わせても使える
バンドオーブン
キャタピラオーブン
過熱蒸気発生ユニット ヒートプラス heat+
トンネルスチーマー
ボックススチーマー
全自動どら焼機
小型どら焼機
株式会社マスダック　本社・工場／〒359-1147 埼玉県所沢市小手指元町1-27-20 ☎04-2948-0161［URL］http://www.masdac.co.jp［E-mail］info@masdac.co.jp

はせがわ減速機
BH型
基本機能に徹したBHシリーズ
用途にあわせて選べる多用途タイプ
BH　BHD　BHV　BHH（出力中空型）
減・変速機 綜合メーカー
株式会社 長谷川鉄工所
営業部 〒339-0042 埼玉県さいたま市岩槻区府内3-1-1 ☎(048)798-7511 FAX(048)798-7375
岩槻工場 〒339-0042 埼玉県さいたま市岩槻区府内3-1-1 ☎(048)798-7371 FAX(048)798-7375
URL http://www.hase-gear.co.jp

YAMADA MACHINE TOOL CO.,LTD.
マーキングでお困りの方、あらゆるマーキングをコンサルティングします。
刻印機不要。MS/NC 旋盤機内でマーキング
機内マーキングシリーズ
Gravostar（グラボスター）
機内マーキングツール
五感で感じる様々なマーキング機器でトライができる
マーキング・ラボ
刻印機をはじめ、レーザー・彫刻機・インクジェットなど多種多様なマーキング機器でトライ加工ができます。
山田マシンツール株式会社
マーキングシステム事業部
〒338-0014 さいたま市中央区上峰 1-10-13
TEL:048-851-1122 FAX:048-851-1125
URL:http://www.yamada-mt.co.jp
e-mail: marking@yamada-mt.co.jp
SAITAMA CITY LEADING-EDGE 認証企業